

あったかトーク

第23号 2017年夏号



ひぐちのりこ
事務所
(青葉区版)

発行人
樋口 典子

社民党仙台市議団 会計
●健康福祉常任委員会
●次世代育成調査特別委員会 副委員長
●議会運営委員会

政務活動費のインターネット公開に むけての条例改正案など

13議案を審査～第2回定例会

仙台市議会、2017年第2回定例会は、6月8日開会、23日閉会の日程で開かれ、13件の議案審査を行いました。

一般会計補正予算では仙台市国家戦略特別区域において、一般社団・財団法人に対する融資制度のための地域産業金融支援事業費の追加として3億円が計上されました。また、学校給食費の公会計化に向けた給食会計システムの構築・運用のため、1億3,400万円が設定することが提案されました。

4件の条例改正案を審議

条例関係では、雇用保険法の改定に伴い、市職員の退職手当（主に中途退職）が雇用保険法で定める額を下回るときに増額できるための仙台市職員退職者条例をはじめ、国の租税特別措置法施行令改正に伴った手数料条例の一部を改正する条例、都市公園内に保育所などを整備することができるための都市公園条例、若林区中央市民センターの位置を変更する市民センター条例の一部を改正する条例が提案されました。

事業系ごみ削減のための検査機購入へ

その他の案件としては、清掃工場に搬入される事業系ごみについて、再生利用が可能な資源物等の混入状況の検査の効率化のため「自走式搬入物検査機」を購入する

ための財産の取得に関する件が上程されたほか、仙台市人事委員会の委員の選任、人権擁護委員の候補の推薦に関する人事案件も上映され、すべて可決成立しました。

政務活動費インターネット公開は 2017年度分から

市議会議員に交付されている政務活動費の使途について、現在は市の情報公開条例に準じて公開されていますが、さらにインターネット公開することについて議会内で論議を続けてきました。一部会派が12月議会に条例案を提出しましたが、すべての会派での議論を踏まえる必要があることから検討会議を立ち上げ議論を重ね、「使途の説明責任を果たし透明性を確保する」趣旨による「仙台市政務活動の交付および使途の公開に関する条例」としてまとめられ、今議会に議員提案で条例されました。先に提出していた会派からの反対の意見がありましたが、本会議の最終日に可決成立しました。2017年度分から公開される予定です。

「自死問題」で議会特別委員会を設置

2年7カ月の間に、市立中学校の3人の生徒が自死するという痛ましい事件（15年9月、16年2月、17年4月）が起きました。いずれも「いじめ」が原因ではないかという



疑念があり、今年4月の件では教師による体罰の実態も浮き彫りになりました。

仙台市は15年と16年の事案については「いじめ防止対策推進法」に基づいて「いじめ対策専門委員会」を設置して原因究明に乗り出しましたが、自死の原因究明にはいたっていません。特に16年のケースではいじめの要因すら解明できず、保護者より仙台市に対して再調査の要請があり、市長の下に第三者委員会を設置して取り組んでいくことになりました。

今年4月の事案では8件のいじめが報告されていましたが、保護者への報告が不十分だったことや1年生から2年生の担任への引継ぎが不十分だったことなど、学校全体で共有されなかったことなどが明るみになっています。アンケート調査も行われ、議会にも報告されていますが、自死について全体の概要すら今後の調査を待たなければなりません。

このような中、議会としての対応を検討してきました。事実関係の把握と原因究明を行い、速やかにいじめ及び体罰の防止策を講じることを求め、児童・生徒が安心して健全な学校生活が過ごせるようにすることを目的とした全議員による「いじめ問題等対策調査特別委員会」が設置されました。私は委員会の運営委員を担うことになりました。

ひぐちのりこ 市政報告 & おしゃべり会

- 市議会報告と、今後の仙台市のビジョンなど話し合っていきたいと思います。
- お子様連れでも参加いただけます。

- ◆日時／8月4日(金)15時～(1時間くらい)
- ◆会場／ひぐちのりこ事務所 ◆人数／10名様くらい

出入り
自由
無料

●味の素 勝山公園
●七十七銀行 中江→
石井屋 ●ライオンズマンション
二日町北四番丁
丸信精肉店
河北仙販
ひぐちのりこ事務所
仙台駅
上杉山通小学校 ●
上杉山通小学校前

ひぐちのりこ事務所
〒980-0011
仙台市青葉区上杉3丁目9-31
プリマヴェーラ杜王101
TEL.022-398-8171
FAX.022-398-8172
セブンイレブン側からお入り下さい。
お気軽にお立寄り下さい!

ひぐちのりこ 東奔西走!

5.8・10 会派視察

8日は熊本地震の被害状況と観光復興について話を伺い、復旧まで20年ほどかかると言われている熊本城の状況について現地視察。

9日は大牟田市の認知症ケアコミュニティ推進事業、福岡市の熊本地震への支援事業、さらに福岡市教育委員会でのふれあい学び舎事業、就学援助入学準備金支給時期の前倒しについて、視察並びに担当の職員の方々からのレクチャーを受けました。

10日は福岡市子ども総合相談センターに行き、児童虐待対策、里親制度について、所長さんからの講話。その後、子どもの村福岡での現地視察をいたしました。



大牟田市の地域に開かれた包括支援センター。

5.19 地域医療連携について質問

市立病院の総合サポートセンターについて、健康福祉委員会で質問しました。1Fに総合案内のサインを掲げて、外来、入院の方から診療や医療費などについての問い合わせなどについて8名を配置し対応している。生活保護などを受給している方からの問合せや子どもの虐待が疑われる場合など仙台市各局と連携をしているほか、地域の医療機関や介護事業者との連携を行っている。自治体立病院として総合的、先進的医療を担っているが、市民の健康維持増進のためにさらに各般の連携を強化していきたいとのことでした。外来の方々へのさらなるサポートも求めました。

5.22 中学生自死について議員協議会

4月の自死案件について、議員全員による議員協議会が行われ会派を代表して質問しました。当該生徒に対していじめ事案について学校全体化の情報の共有化、保護者への連絡について質しました。さらに体罰があったことで当該中学校の校長は「体罰は教育の敗北である」と述べているが、教員一人ひとりにこの理念が伝わっていたか、また「次世代育成」は仙台市としての大きな柱であるが、再発を某する観点からも当該のセクションだけでなく、仙台市全体で取り組む課題であるとの答弁でした。

5.20 地方自治研究集会

仙台市地方自治研究センターなどによる市長選挙の前のタイミングで行われる市民、市職員それぞれの仙台市政アンケートの結果が公表されました。前回の2013年に比べ、公共交通機関の充実を課題に挙げる人が急増しました。奥山市長の市政運営は市民の5割、市職員の7割が肯定的な評価でした。集会では「市民は仙台市政に何を求めているか」と題し、東北大学大学院文学研究科教授で社会学者の長谷川公一さんの講演の後、フロアとの意見交換が行なわれました。



仙台市政アンケートでは生活に密着した課題への優先順位が高いと指摘。

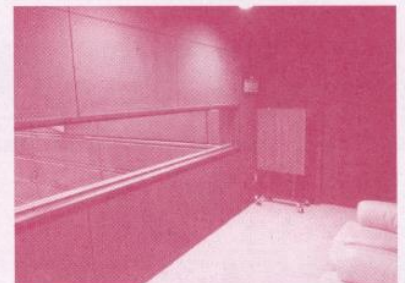
5.25・26 議会運営委員会視察

25日は広島市議会で議会の運営について説明を受け、さらに本会議場の現地視察をしました。子ども連れでも傍聴が出来るように議場の中に母子室が整備されています。

26日は神戸市会での議会での決算委員会および傍聴環境について議場の視察を行いました。難聴者の聞こえを支援し、補聴器を補助する「磁気ループ」が傍聴席に整備されています。



広島市議会での質問席。



傍聴席の後方にある「母子室」。

たくさんの皆さんの声を聞きます!

5.28 「ひきこもり支援で地域に力を！」講演会

秋田県藤間町社会福祉協議会の菊池まゆみさんの講演を聞きました。高齢化率45パーセントのまちでひきこもりの若者たちのパワーをまちおこしに活かす、一人ひとりが役割を持つこと。一人暮らしの人こそ、時間が自由になるので地域の仕事を担ってもらえるなど逆転の発想で実を結んだ取り組みなど、きめ細かな福祉マインドに感激しました。地域福祉の可能性は大きく開かれています。



「誰でも支える側になっていただけることができます」と菊池さんのお話。

6.12 市民防災の日



各団体が連携しての救出訓練。

仙台市防災の日に宮城広瀬体育館で行われた防災訓練。直下型地震が起こったとの想定で、消防をはじめ防災関係機関や災害時応援協定締結団体などが、相互に連携を図りながら重機や特殊作業車を駆使して倒壊建物からの救出訓練。さらに物資の輸送・集配等の実践的な訓練が繰り広げられました。地域防災町内会の防災担当者や仙台市地域防災リーダー(SBL)の方々などに、救助方法や応急救護の技術講習も行われました。地域の防災訓練へのフィードバックを図り、地域防災力の向上に繋がる有意義な訓練でした。

6.20 議員学習会「いじめ調査の視点を考える」

社民党会派が提案し、議会5会派の代表がよびかけ人となった「いじめ調査の視点を考える」議員研修会が行われました。講師はいじめ問題などで学校に出前授業も行っている草場裕之弁護士と、小幡佳織里弁護士。イジメの本質は人権侵害と説きます。

2010年の国連子どもの権利委員会での総括所見では「高度に競争的な学校環境で、修学年齢の子どものいじめ、精神障害、不登校、中途退学および自殺を助長していることも懸念するなど、学校、地域で、いじめ問題に取り組み、今後の再発防止策を考える示唆をいただきました。



23人の議員が参加しました。

ひぐちのりこ 主な活動日誌

- 5月9日～10日 会派視察
- 5月14日 仙台ハーフマラソン大会
- 5月15日 次世代育成調査特別委員会
- 5月19日 健康福祉常任委員会
- 5月22日 議員協議会(自死案件について)
- 5月25日～26日 議会運営委員会視察
- 5月28日 フェミニスト議員連盟講演会
- 6月8日～23日 仙台市議会第2回定例会
- 7月1日 スーパラダイス八木山ふれあいの丘開所記念式典
- 7月3日 市政施行128周年記念式
- 7月7日 いじめ問題等対策調査特別委員会
- 7月8日～9日 フェミニスト議員連盟サマーセミナー

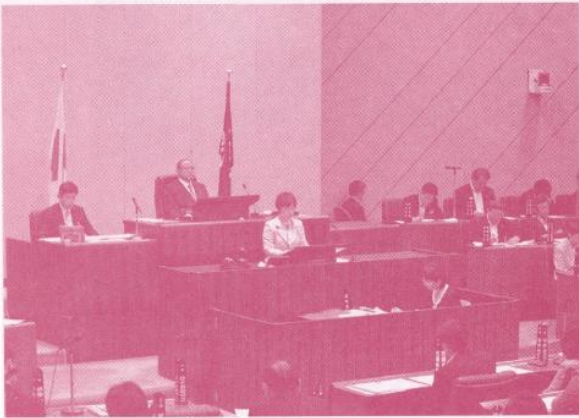
これから の 主 な 予 定

- 7月31日 次世代育成調査特別委員会
- 8月15日 戦争を阻止する母親の平和行進
- 9月4日 議会運営委員会

6月15日

代表質疑をしました。

仙台市での女性活躍、女性が多い職種での昇任を質す



今議会で市長としての最後の議会となった奥山恵美子仙台市長に対し、我が国の女性首長は全体のわずか1.57%である中、仙台市のトップが女性であることで多様な将来像を抱けるようになってきましたが、女性の活躍に向けた考えについて質しました。

近年は様々な制度が整備され、様々な分野でトップとなった女性の活躍する姿に触れる機会も増え、多様なリーダーシップの可能性が広がってきたものと考えている。今後も、女性が

地域課題の解決や復興、防災など幅広い分野で意思決定の場に参画し、その多様な価値観や発想が、市民協働のまちづくりにおいても生かされていくことを期待するとの答弁でした。

また、本市総職員のうち管理職の割合は9%であるのに対し、ほとんどが女性の看護師、保育士、栄養士で管理職となっているのは2%であり他職種と同様の昇任を行うことなどを求めました。

人事評価を基礎として、性別や学歴等にとらわれない公平な運用に努めているが、職種により一定の差が生じているものと認識している。そうした中、例えば保育士では、規模が大きい保育所や地域子育て支援等の事業を行う保育所の所長ポストに、課長級の職員を配置するなど、管理職員への登用を行ってきたが、今後も、職種毎の状況も踏まえながら、職員の能力に応じて適切な人材登用に努めていきたいとの答弁でした。さらに、外郭団体の女性の登用および技術職などの採用における手法の改善も求めました。

いじめ防止には仲間づくりの力を活かし、教育行政の自主性、自立性の尊重を

いじめ問題の解決に向けて、本市の保育所などで実践されてきた一人ひとりがお互いに認め合い、自然に理解を深める仲間づくり理念を活かすことを求めるとともに、教育行政の自主性、自律性を尊重し、地域と連携をしながら実効性のある取り組みをすることについての考えを質しました。

子ども同士の認め合いや、一人ひとりが尊重される集団づくりなどが大変重要であ

ると認識している。また教育委員会が自らの主体性と再発防止への強い決意を持って、地域との情報共有を図りながら、子どもたちの安全安心を守る体制や環境を更に構築していくことが、重要であると認識している。教育委員会と学校・家庭・地域との連携の下、それぞれが役割をしっかりと果たすことが大切であることが述べられました。

市議会ひぐちコラム

仙台市立学校の給食は、センター方式(101校)と校内で調理をする単独調理方式(81校)で提供されています。給食費については、センター方式は市が直接徴収する「公会計」ですが、単独調理校では保護者が各学校に納入し、そこから食材を購入する「私会計」となっています。私会計では給食費の納入状況によっては給食提供に影響が及ぶ恐れがあると指摘されていました。おいしい食事を提供するために安定した予算措置のもとでの献立作成、食材購入は必須です。会派としても1998年から求めており、私も議会の内外で導入に向けて発言してきましたが、ようやく実現の運びとなりました。すべての学校での公会計制度導入は2019年の予定です。

ホームページ

<http://www.kaigamori.com/nohiguchi/>

ひぐちブログ

<http://nohiguchi.jugem.jp/>

ツイッター

twitter アカウント名
#nohiguchi

Facebook

facebook ページ
<http://www.facebook.com/noriko.higuchi.18>



QRコード

都市公園内への 保育所などの設置は 百年の森づくりを踏まえ慎重に

本年4月の都市公園法の改正に伴い、国家戦略特区の指定を受けなくても全国の公園で保育所の設置が可能となり、今年度、青葉区の中山とびのこ公園内に民設民営の保育園が開所されました。また都市公園内に集会所を設置することについても設置基準が定められましたが、公園のみどりが都市のうるおいをはじめ経済的効果をもたらすなどの多用の機能をもつことや防災機能の拠点としての重要性などを鑑み、まず公園以外の土地を探ることが肝心で、都市公園内のこれら施設の設置は慎重に行うべきと質問しました。

施設設置の要件は、当該公園以外での用地確保が困難であること、一般の公園利用者に大きな支障が及ばないこと、公園利用の促進が図られることなどを定めている。設置の際には、事業者等に対して、公園利用者への説明会の実施を求めるとともに、保育所利用者と地域の方々の交流促進となる仕組みづくりや、公園利用者にも集会所を開放するなど、公園利用の活性化に資する内容となるよう、指導していきたいと考えているとの答弁でした。

そのほか、国会でも恣意的運用ではないかと論議された国家戦略特区ですが、本市での特区の活用について考え方、中小企業融資制度の対象の一般社団法人・財団法人への拡充や広報、および自走式搬入物検査機導入により想定される事業ごみ減量の効果などについて質疑しました。



ひぐちのりこ事務所

TEL.022-398-8171 FAX.022-398-8172